

# 第5回

金ヶ崎周辺施設整備計画策定委員会

## 説 明 資 料

平成30年4月26日

敦賀市産業経済部新幹線まちづくり課

－ 目 次 －

- 1 転車台とS Lの活用可能性調査による施設配置イメージ・・・P 1
- 2 トワイライトエクスプレス譲渡物品について・・・P 2
- 3 キハ28形気動車について・・・P 3
- 4 金ヶ崎周辺施設整備基本計画（案）について・・・P 5

# トワイライトエクスプレス関連部品

## 1 トワイライトエクスプレス車両概要

- ・平成元年(1989年)7月21日に運転を開始。  
(平成27年(2015年)3月12日運行終了)
- ・敦賀地域鉄道部敦賀運転センター車両管理室所属
- ・大阪 - 青森間で牽引。敦賀駅で別のEF81形機関車と交替
- ・最終下り列車出発時には約3500人の鉄道ファンが  
大阪駅に詰め掛けるなど、鉄道ファンに人気の高い電気機関車

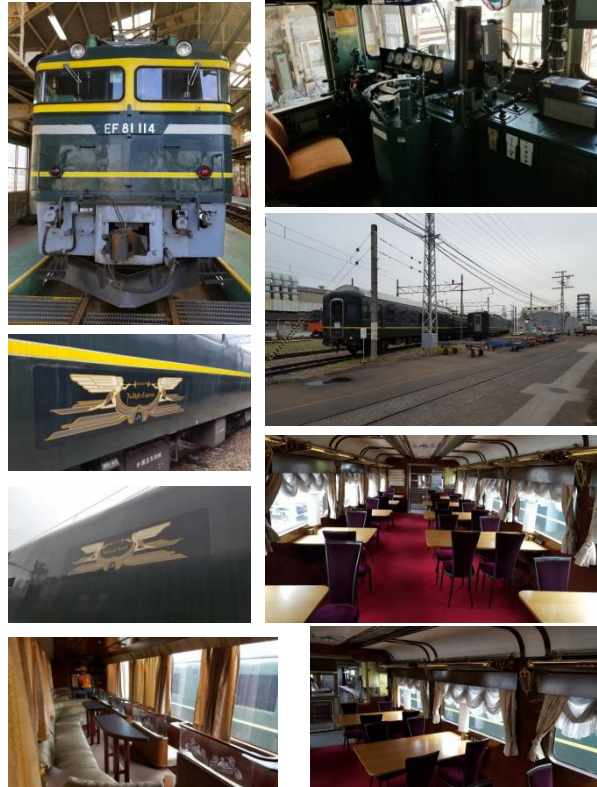
## 2 譲渡を受けた物品 別添リスト参照

- (1) 電気機関車(EF81 43)関連部品
- (2) 客車(24系、25系)関連部品
  - ・レストランカー「ダイナープレヤデス」
  - ・サロンカー「サロンデュノール」

## 3 譲渡物品数量

- (1) EF81 14種類 19個
- (2) 24系等 32種類 113個

## 解体前



## 譲渡物品(EF81)



## 譲渡物品(24系、25系)



# キハ28形気動車

## 1 車両概要

- ・昭和36年(1961年)運行開始した急行「わかさ」(小浜線)に使用(平成11年(1999年)10月2日運行終了)
- ・全国で5両のみ現存
- ・国鉄色の車体にノスタルジーを感じ、同車両を活用した体験イベントでは、1日に1,000人以上を動員する
- ・鉄道ファンに最も人気の高いディーゼル車

## 2 車両の状態

- ・自走可能(起動に必要な電気関係部分の修繕が必要)
- ・防錆塗装済(約2年に一度の塗装が必要)

## 3 車両規格

- ・全長21.3m 全幅2.94m 全高 3.925m

鉄道フェスティバル開催時



内装



## キハ28 3019



キハ28 3019は、1968年12月21日に富士重工でキハ28 1019として製造された日本国有鉄道の急行形気動車です。新製当初は福知山区に配属となり、1971年度に豊岡区へ転属となりました。1976年3月26日に後藤工場で冷房用発電装置搭載などの改造を受け、このときにキハ28 1019から現在のキハ28 3019へと改番されました。1982年度に福知山区へと転属、1987年には豊岡区へと再び転属し、以降も1992年度に福知山区、1999年度に豊岡区と、転属を重ねながら、北近畿地区を中心に活躍を続けました。2000年3月6日に廃車となりましたが、和歌山県白浜町のアドベンチャーワールドで開催された鉄道イベントで展示され、以降も屋内での保存が続けられていました。しかし、その後解体が決定してしまい、それを惜しんだアチハ株式会社が、自社の負担でこのキハ28を買い取り、2016年6月14日～16日にかけて搬出、大阪市住之江区の本社に移設して保管を続けていました。そしてこのたび、つるが鉄道フェスティバルでお披露目が可能となったのです。

解説 笹田昌宏  
協賛 アチハ株式会社



キハ28形気動車の設置案位置図

